

# 天龍の子ら

令和6年7月19日 No.5 天龍小学校・天龍中学校

73日間の1学期が終わりました。今年度は小中併設校として新たなスタートをし、児童・生徒が1つの校舎を使用して学校生活を送りました。昨年度までとは違って、身近に先輩後輩の存在を感じながら、先輩から学んだり、後輩から刺激を受けたりしながら、子ども達は明るく、元気に楽しい学校生活を送れたように思います。



明日から8月21日まで夏休みです。規則正しい生活をし、生活のリズムを崩さず、暑さに負けない健康な夏休み、夏ならではの体験をする夏休み、やってみたいことにチャレンジする夏休み、ケガや病気、事故のない夏休みにしましょう。「楽しかったあ」と言える夏休みを過ごし、8月22日（木）笑顔でみんなで会いましょう。

## B&Gのプールで水泳学習



小中学校の敷地にはプールがなく、旧中学校のプールの使用ができなくなったため、今年度から南信濃B&Gのプールを使用させていただき水泳学習を実施しています。プールまでは、マイクロバスやスクールバスを村から出していただき送迎を行っていただくことで、泳ぐ時間を十分に確保して行うことができます。

きれいなプールで子ども達は元気よく水しぶきをあげて、水泳を楽しんでいました。小学生は、飯田南スイミングクラブの林コーチに来ていただいてグループごとにレベルに合わせた指導をしていただきました。クロールや平泳ぎの泳ぎ方が向上してきました。中学生は、クロールと平泳ぎを中心に、スピードに乗った泳ぎや長く泳ぐことを意識して授業を行っています。限られた時間の中で子ども達は、泳力を高めるとともに泳ぐことの楽しさを味わっているようです。

## キャリア教育として職場体験(中2)、福祉体験(中3)

7月9～11日までの3日間2年生の職場体験、9、10日の2日間3年生の福祉体験が行われました。2年生の南屋君は、「満島屋」「龍泉閣」で職場体験を行いました。満島屋では、棚おろしや接客、レジ打ちなどを体験し、龍泉閣では、お風呂掃除、接客、厨房での皿洗いなどを体験させていただきました。3年生は、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、デイサービスセンターの3ヶ所に分かれて体験を行いました。施設を利用している方と触れ合ったり、介護体験をしたりしました。人と関わって働くことの大変さや大切さ体験を通して感じたのではないのでしょうか。そして、この経験を将来の夢の実現に活かしてほしいと思います。



## 不審者から子どもを守るために防犯訓練の実施

7月4日(木)に小中合同で防犯訓練を実施しました。阿南警察署、天龍村駐在所から2名来ていただいて訓練の様子から不審者への対応の仕方を指導していただきました。今回は、子ども達と先生方には、2時間目に訓練があること、校長と教頭は不在という想定で行うことしか伝えずに訓練を実施しました。当日、1階から不審者が侵入し、3階の中学1年生の教室に侵入しました。教室から逃げた生徒が、中2、中3に不審者が侵入したことを伝え、校内放送で全校に不審者のいる階を伝え、担任の判断で教室にとどまったり、職員室まで避難したりしました。手の空いた職員がさすまたを持ち、不審者のもとへ急行し、最終的には3階の生徒会室前で犯人を取り押さえました。不審者侵入から不審者を取り押さえるまでが約3分、警察署に通報がいき、駐在さんが不審者を確保するまでは15分でした。短いのか長いのかというよりは、最低でもこれだけの時間がかかると言うことになります。この時間の中で、子どもたちの命や安全を私たち職員が全力で守らなくてはいけないということを強く感じました。また、子どもたちが真剣に取り組み、無駄な声は一切聞こえなかったことは素晴らしいと感じました。不審者対応については絶対にこうしようという形はありません。その時そのときの最善だと思う判断が大切になってきます。今後もこのような訓練を大切に、子ども達の安全を守る意識を高めたいと思います。訓練後の全体会で阿南警察署の方から子どもたちへのメッセージがありました。それは「普段の授業や生活の中で先生の話をよく聴き、理解すること。それが、もしものときに役立ちます。ちゃんと話を聴いてください」です。つまり、聴くことで状況が分かり、それがその後の自分を守るための判断につながると言うことだと思います。「聴く」心がけたいですね。



## 三小仲よく「わだっこ祭り」



7月8日(月)に和田小学校で、三小合同で「わだっこまつり」が行われました。三小の6年生が中心となって、様々なアトラクションを考え、4・5年生がグループの中心になって低学年と一緒に各アトラクションを回りました。どのアトラクションも工夫されて楽しいアトラクションばかりでした。天龍小の6年生は、「サビトロクイズ」「ある意味ストラックアウト」の2つのアトラクションを考え、ただ運営をするだけでなく、来たグループにあわせて臨機応変に対応を変え、楽しんでもらえるように対応している姿が素晴らしかったです。4・5年生はグループのリーダーとして「次はどこに行きたい」と聞きながら8つのアトラクションを楽しく、仲よく回っていました。三小合同の交流学习を継続している姿が「わだっこまつり」のみんなで楽しむ姿に表れていると感じました。

七月の活動



梅泉さん篠笛教室



保健指導



食育指導



期末テスト